

開戦80周年を機に読んでみたい

防衛研究所の研究者が論じる第2次世界大戦

庄司潤一郎・石津朋之 他 編著

『検証 太平洋戦争とその戦略 1』
(中央公論新社、2013年)

- ・参戦各国の総力戦体制を、政治・経済・社会の各面から分析。

庄司潤一郎・石津朋之 他 編著

『検証 太平洋戦争とその戦略 2』
(中央公論新社、2013年)

- ・日独伊三国軍事同盟を軸に、各国の戦略を考察。

庄司潤一郎・石津朋之 他 編著

『検証 太平洋戦争とその戦略 3』
(中央公論新社、2013年)

- ・開戦から終戦まで、参戦各国の戦略変遷を時系列で追う。

石津朋之 著

『総力戦としての第二次世界大戦』
(中央公論新社、2020年)

- ・欧州戦線を題材に、政治・社会・技術・統率を問う。

立川京一 著

『第二次世界大戦とフランス領インドシナ』
(彩流社、2000年)

- ・日本の仏印進駐を、日仏協力と国際関券の視点から捉え直す。

小野圭司 著

『日本 戦争経済史』
(日本経済新聞出版、2021年)

- ・第2次大戦までの日本の戦時財政・金融政策を、国際比較も交えて論じる。

庄司潤一郎 他 著

『決定版 大東亜戦争』 (上・下)
(新潮新書、2021年)

- ・日本の戦略・国民生活、連合国の動向、講和、史的教訓を語る。

千々和泰明 著

『戦争はいかに終結したか』
(中公新書、2021年)

- ・第2次大戦を含む、20世紀以降の主要な戦争の終結過程を考察する。

G・ローズ著/千々和泰明 他訳

『終戦論』
(原書房、2012年)

- ・終戦と共に「本当の戦い」が始まるという視点の終戦論。

D・J・バーカソン著/立川京一 他訳

『カナダの旗の下で』
(彩流社、2003年)

- ・カナダ軍の視点から、第2次大戦を分析する。

N・スパイクマン著/小野圭司 訳

『米国を巡る地政学と戦略』
(芙蓉書房出版、2021年)

- ・第2次大戦前後を軸に、米国が採るべき勢力均衡策を提言。